

4 ペット用品の備蓄

いざというときには、なかなか手に入りません。大切なペットを守るために、普段から次のものを用意しておきましょう。

- ☐ 水とペットフード(最低5日、できれば7日以上)、食器
水はペットボトル入りが便利です。
ペットフードは携帯にも便利なドライフードをオススメします。
- ☐ リード、ハーネス
ペットと離れないよう、また、咬傷事故防止のためにも必需品です。
- ☐ ケージ、キャリーバッグ
- ☐ ペットのトイレ用品
便処理袋、ウェットティッシュ、ペットシートなど
- ☐ 常備薬
- ☐ 予防接種の記録などが記載された健康手帳など
- ☐ その他
使い慣れたおもちゃ、ガムテープなど

5 避難先の確認

避難先を把握しておきましょう。できれば実際にペットを連れて、自宅からルートを確認しておきましょう。

また、親戚や友人など、複数の一時預け先を探しておくことが望ましいでしょう。

ペットと同行避難



江東区保健所 生活衛生課

TEL 3647-5844

ペットを守るために

災害がおこったら、まずは自身の安全の確保をしましょう。

飼い主が無事でなければ、ペットを守ることにはできません。

避難が必要な場合には、できるだけペットと一緒に、より安全な場所へ避難しましょう(同行避難)*。

※同行避難とは、災害の発生時に飼い主が飼育しているペットを同行し、避難所まで安全に避難することを言います。避難所において、人とペットが同一の空間で居住できることを意味するものではありません。

飼い主は、ペットを守るために万一の事態を想定し、最後まで責任をもって世話をしなければなりません。

同行避難が難しい場合も考えて、もしものときの預かり先も確保しておきましょう。



日頃からの備え

1 基本的なしつけ

避難先では、見知らぬ人達や他の犬・猫たちと生活を共にしなければなりません。また、動物の苦手な方や、動物の毛等によるアレルギーを持っている方もいます。みんなに快く受け入れてもらえるように、日頃からしつけをしておきましょう。

- ☐ オスワリやマテ、オイデといった基本的なしつけができている
- ☐ 見知らぬ人や他の動物を怖がらない
- ☐ 無駄吠えをしない
- ☐ ケージの中でも長い時間過ごせる
- ☐ トイレは決められたところとする

2 健康管理

- ☐ 人や他の動物への感染や寄生の恐れのあるノミやダニ等を駆除している
- ☐ ワクチン接種や狂犬病予防注射をしている

3 身元表示

ペットには鑑札や迷子札をつけておきましょう。迷子札や首輪等に飼い主の名前と連絡先を書いておけば、迷子になっても見つかる可能性が高くなります。半永久的に識別可能な身元証明として、マイクロチップを入れておけばさらに確実です。

また、ペットの写真を複数枚持っていれば、探す手がかりとなります。